

こんにちは 新社会党です



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2020年8月号

発行所：新社会党 発行者：岡崎ひろみ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階

TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

振替 00140-0-149727 1か月600円 164円1部150円 41円

http://www.sinsyakai.or.jp E-mail: honbu@sinsyakai.or.jp

「急がば回れ」—PCR検査の飛躍こそ対策の基本 無自覚・無症状感染者の早期発見・治療と接触回避へ

①無料のPCR検査を大幅拡充

コロナ対策で一番重視することは、コロナに感染していても無自覚・無症状で人との接触を通じてコロナが伝播するのを防ぐことです。そして陽性の場合には必要な施設に隔離することです。それにはまず、重点地域、クラスター周囲の無条件・無料のPCR検査を飛躍的に増やすことです。

日本の検査数は各国に比べあまりにも貧弱です(図1参照)。

②財政支援で医療崩壊を防げ

また、今後のコロナ感染拡大に伴い、各種医療機関への財政的支援は不可欠です。特に第一次感染期でコロナ患者を受け入れた大学病院の財政はひっ迫しています(図2参照)、悲鳴をあげています。医療機関、医療従事者

安倍政権は、8月臨時国会召集で抜本的コロナ対策を講じろ！

新型コロナウイルスの感染は第二波に入りました。しかし、政府は重症者数や空きベッド数などを根拠にこれを認めず、全国的な旅行キャンペーンの最中。今、やるべきことはPCR検査数の飛躍的増加、医療施設、従事者への手厚い財政支援です。また、商業施設・店舗への支援の簡易手続化、失業者・待機者の雇用創出政策など多岐にわたります。安倍政権は逃げずに、8月臨時国会を早急に開くべきです。

への第二次補正予算が組みましたが大変不十分です。また、医療従事者と家族へのPCR検査を無条件で行い、差別と偏見を是正すべきです。

③情報収集、発信力の強化

国民への情報開示は統一基準によるスピード性、正確性が不可欠です。すでに「コロナ感染全国情報システム」がありますが、東京都や大阪府は採用していません。東京都はファックス



での処理、情報は数日前のもの、で速報性に欠けます。

④補償システムの簡素化

コロナ被害者への僅かな補償がありますが、その申請手続きが煩雑です。書類を厳格化するより、圧倒的な多くの人に早急に給付することが先決です。

⑤憲法遵守で国会を招集しろ！

憲法53条は「衆参いずれかの議員の4分の1以上の要求」で内閣は臨時国会召集を決定しなければならぬと定めています。野党の開催要求を踏まえ、安倍政権は臨時国会を招集し、抜本的対策を講ずべきです。

